

6月13日開幕のスーパーラグビーアオテアロア（NZ）で、ゴールデン・ポイントやレッドカード交代などのルール変更を導入。

ニュージーランド協会は、6月13日から始まる「スーパーラグビーアオテアロア」に向けて、3つのルール改正を発表した。

リーグ・ラグビーでのゴールデン・ポイントのように、80分間が終了しても引き分けだった場合に、10分間の延長時間に入り、とにかく先に得点を挙げた方が勝利するという方式。

ゴールデン・ポイント方式で試合に負けたとしても、相手チームよりもトライを3つ多く上げた場合などのボーナスポイントは得られる。

ニュージーランド協会のプロ部門責任者のクリス・レンドラム氏いわく、「ゴールデン・ポイントは試合にも良い影響がある、コーチや選手たちによれば引き分けで終わるのは空しい気持ちになってしまうとのことなので、ゴールデン・ポイントを採用することにした。この方式を入れると、最後まで興奮するので、これが試合をぐっと引き締めることになる」。

もう一つの大きな変更は、レッドカードが出された場合、20分後には代替りの選手を入れることが出来るようにすることだ。

退場になった場合、その選手はもう戻ることは出来ないが、20分後にはチームは代替りの選手を入れることが出来る。

レンドラム氏によれば、「これはレッドカード（退場）が試合に影響する度合いを減らすため、特に試合開始から早い時点でレッドカードが出た場合にはそれでほぼ勝敗が決まってしまうことを防ぐため」。「不正なプレーに対して、選手は処罰を受けるべきであるし、それはこれからも変わらないが、レッドカードによって勝敗への影響が大きすぎる場合がある」。「レッドカードが出された場合には誰も得をすることは無い。しかしお金を払って試合を見に来てくれているファン達が見たいのは、また選手やコーチが望むのは、正当な戦い（フェア・コンテスト）なので、20分後に選手を入れ替えることで、試合への影響度合いがちょうどよいバランスになると思う」。

さらに、試合をもっと攻撃的で早い展開にするために、ブレイクダウンでのルール適用をもっと厳しくすることもあげられている。

（出典；オーストラリア協会 <https://www.rugby.com.au>）

*スーパーラグビーアオテアロアとは；2020年6月13日開幕のNZ国内スーパーラグビー5チーム（Blues ブルーズ、Chiefs チーフス、Hurricanes ハリケーンズ、Crusaders クルセイダーズ、Highlanders ハイランダーズ）による新大会

